

バードストライクにご注意を！

2024 年 12 月 29 日に韓国・務安空港で起こったチェジュ航空機事故を機に、Bird Strike の危険性が改めて認識されました。ALPA Japan AGE (Aerodrome and Ground Environment) 委員会は、鳥衝突防止に関して継続的に取り組んでいます。

過去に発行した News では、以下の取り組み等を発信してきました。

- ① その空港毎の特有の鳥の生態系や習慣などを研究し、衝突防止を図る
- ② 空港だけの問題ではなく、空港周辺の漁港やごみ処理所など、鳥の生息に繋がる空港とその周辺環境全体への取り組みが重要
- ③ 低高度＝酸素の濃い高度帯、での衝突が多いので「100ft 上昇する毎に鳥衝突の可能性は1%減少する」と広く言われている
(ただし、12,000ft 付近でも鳥衝突の報告はある)
- ④ 世界中の Pilot による鳥衝突報告が今後の対策や衝突防止へ大きく寄与する



また、今後の取り組みへ期待したい内容としては、

- ① ICAO Runway Safety Team Handbook に沿った RST を空港毎に設け、速やかにかつ効果的に対応
- ② Bird Radar など新しい技術などを上手に取り入れ、User にとって親切で安全な環境醸成

などが挙げられます。

Bird Radar は 2006 年頃より米国やカナダで導入され、日本国内でも 2012 年 4 月に羽田空港に導入されています。残念ながらまだ十分に活用できていない現状ですが、今後の活用に期待です。

主な Bird Radar



ASCEND XYZ 社
(デンマーク)



DETECT GLOBAL 社
(米国)



NEC 社
(日本)

以 上